

道路交差点に関する
調査表記入マニュアル

〔C060〕 道路交差点本線

この調査表は、道路交差点（平面交差及び立体交差）に関する本線部のデータを登録するためのものである。なお、ここで取扱う交差点とは道路情報便覧調査要領（建設省道路局道路交通管理課）で扱う交差点及び市町村道2級以上（S. 55. 3. 18付け建設省道地発第18号道路局地方道課表通知）の交差点を対象とする。ただし、管理上必要と思われる交差点については、担当部署と協議の上データの作成を行う。

1. 一般的注意事項

(1) データは次の単位で作成する。

- 路線毎とする。
- 道路交差点箇所毎とする。
- 交差方式毎とする。

注) 直轄道路どうしの道路交差点においては、データは一方だけ作成する。優先順位は、路線番号の小さい道路を優先とする。

(2) 道路交差点に関する従道路及び各枝の属性については「C061道路交差点従道路」にて作成する。

(3) 道路交差点に関する写真・図面類については「C062道路交差点図面類」にて作成する。

2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C
- (F) 路線
- (G) 現旧区分C
- (H) 整理番号1
- (I) 整理番号2

(W) 交差方式C : ◆

交差方式について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
平面交差	1
立体（主道路が高架）	2
立体（従道路が高架）	3
立体（主道路が地下道）	4
立体（従道路が地下道）	5
立体（その他）	9

(Y) 交差区分C : ◆

交差区分について、該当するコードを記入する。なお、交差区分が異なる複数の道路と交差している場合は、最も上位の道路に対する交差区分を記入する。

区 分	コード	区 分	コード
高速国道	1 1	有料公団	1 6
直轄国道	1 2	有料公社	1 7
補助国道	1 3	首都高速	1 8
都道府県道	1 4	阪神高速	1 9
市町村道	1 5	本四公団	2 0

(AA) 市区町村C : ◆

該当する区間の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ——> コード：0 8 4 0 1
(検査数字は含まない)

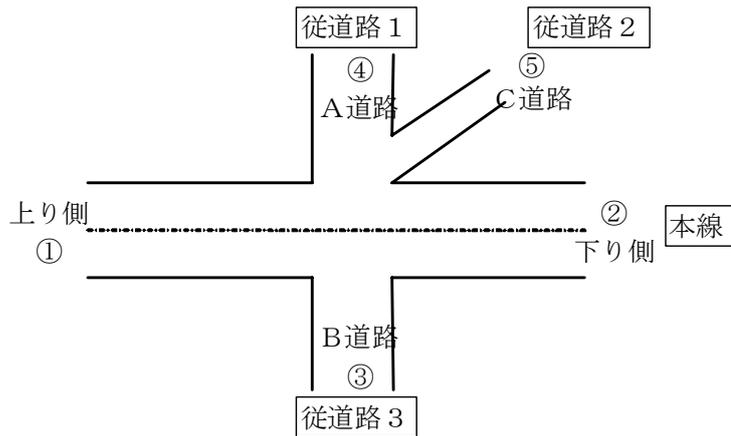
(AD) 所在地

該当する区間の所在地（字番地まで）について、30文字以内の日本語で記入する。

(AE) 従道路数

本線と交差している従道路の数を記入する。

記入事項 (AF) 枝数の図より5差路の場合は、従道路数は「2」と記入する。ただし、下図のように5差路で従道路名称が異なる場合は、従道路数は「3」と記入する。

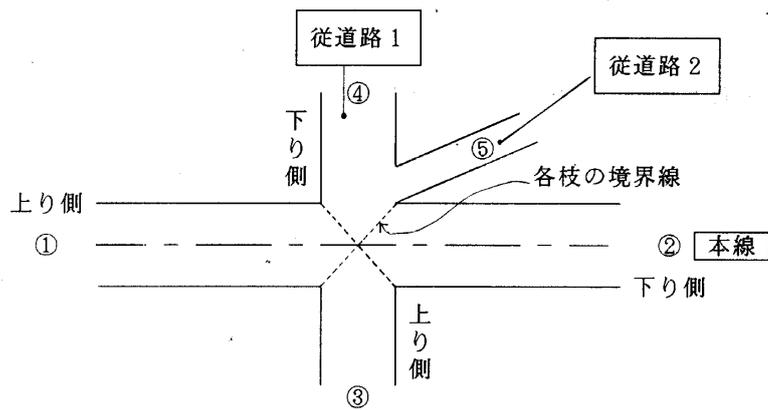


(AF) 枝数

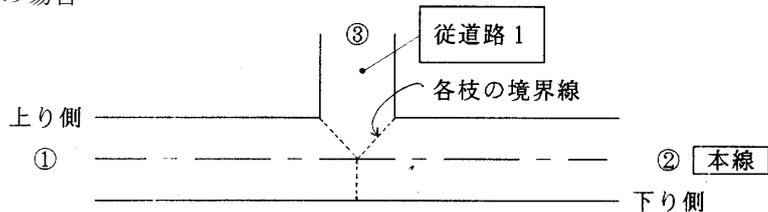
道路交差点の枝数を記入する。なお、枝数（枝番）は下図の考え方に従う。

○ 5差路の場合

本線道の上り側①下り側②とし従道路の上位路線の上り側③下り側④……とする枝番をふりそのNoをカウントする。この場合枝数は「5」とカウントされる。



○ 3差路の場合



この場合、枝数「3」とカウントされる。

(AH) 車道幅員 (m)

車道部の総幅員（付加車線は含まず）を、小数点以下2位まで記入する。

(AI) 車線数

総車線数（付加車線は含まず）を記入する。

(AJ) 付加車線有無C

- (AL) 中央分離帯有無C
- (AN) 歩道有無C
- (AP) 自転車通行帯有無C
- (AR) 立体横断施設有無C
- (AT) 横断歩道有無C
- (AV) 信号機有無C
- (AX) 照明有無C

上記 (AJ) ~ (AX) については、本線部に設置されている施設の有無について、該当するコードを記入する。

(BH) 道路規格C

本線の道路規格について、該当するコードを記入する。

区 分	コード	区 分	コード
第1種1級	1 1	第3種3級	3 3
第1種2級	1 2	第3種4級	3 4
第1種3級	1 3	第3種5級	3 5
第1種4級	1 4	第4種1級	4 1
第2種1級	2 1	第4種2級	4 2
第2種2級	2 2	第4種3級	4 3
第3種1級	3 1	第4種4級	4 4
第3種2級	3 2		

ここで旧構造令により道路規格が定められている場合については、下記の例にならい記入する。

すなわち、現行の道路規格コードに対し「40」を加えた値を記入する。

(記入例) 現行の構造令の場合 2種1級 ——>

2	1
---	---

+ 4 0

旧構造令の場合 2種1級 ——>

6	1
---	---

(BJ) 備考 特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

〔C061〕 道路交差点従道路

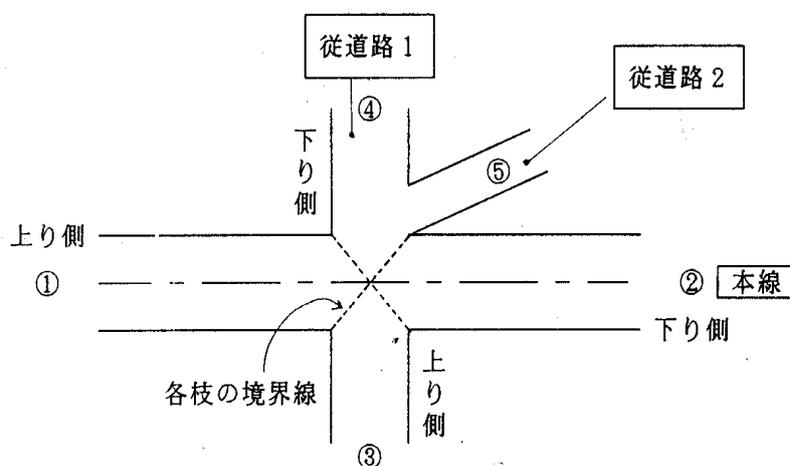
この調査表は、道路交差点における従道路に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「C060道路交差点本線」の作成単位毎とする。
- 従道路の枝番号毎とする。（本線部分は作成不要） 注)

注) 「従道路1」、「従道路2」の各枝番号毎にデータを作成する。



2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C
- (F) 路線
- (G) 現旧区分C
- (G-1) 現旧区分

協定がなされている場合その年月日を記入する。（年は西暦年で記入）

協定がなされていない場合は‘*’を記入する。

（記入例） 1984年 3月15日 ——> 19840315

(Y) 協定者名

協定がなされている場合その協定者名を、12文字以内の日本語で記入する。

協定がなされていない場合は‘*’を記入する。

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

C060：道路交差点（本線）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
名称	全角10文字			○
百米標	999.9	k m	○	○
距離	999	m	○	○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦		○
交差方式C	半角1文字		○	○
交差区分C	半角2文字		○	○
市区町村C	半角5文字		○	○
所在地	全角30文字			○
従道路数	9			○
枝数	9			○
車道幅員	99.99	m		○
車線数	99			○
付加車線有無C	半角1文字			○
中央分離帶有無C	半角1文字			○
歩道有無C	半角1文字			○
自転車通行帶有無C	半角1文字			○
立体横断施設有無C	半角1文字			○
横断歩道有無C	半角1文字			○
信号機有無C	半角1文字			○
照明有無C	半角1文字			○
道路規格C	半角2文字			○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

C061：道路交差点（従道路）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字			○
整理番号2	半角4文字			○
車道幅員	99.99	m		○
車線数	99			○
路線名称	全角15文字			○
道路規格C	半角2文字			○
協定有無C	半角1文字			○
協定年月日	19990101	西暦		○
協定者名	全角12文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照